



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

競輪補助事業概要のお知らせ

この度、平成28年度のJKA競輪公益資金の補助を受けて、下記のとおり事業を実施いたしました。



記

- 1 補助事業名 平成28年度地域社会の安全・安心に資する活動補助事業
- 2 補助事業者名 公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
- 3 実施場所 33都道府県

4 補助事業の概要

(1) 事業の目的

少年の立ち直り支援を効果的に推進するためには、それにふさわしい場のあることが望ましい。農作物の栽培、収穫等の農業体験には、ひとつの物事に継続して取り組むことによる忍耐力の涵養やこれらの体験を通じた将来の就労に向けた意欲の向上にとどまらず、情操面における教育効果も期待でき、立ち直り支援の場としてふさわしいと考えられる。

さらに、農作業活動においては、その期間中には、農作業面だけでなく、人生経験豊かな少年警察ボランティアが話し相手となり、生活面での指導等も行われており、少年の立ち直りには大きな効果が期待できる。

このため、当協会では、全国の少年警察ボランティアと協力し、青少年の健やかな成長を育む活動として、実施しているものである。

(2) 実施内容

① 参加少年ほぼ倍増、体験で成長を実感

<http://zenshokyo.ecs.or.jp/>

岐阜県少年警察ボランティア協議会は平成28年4月から10月にかけて、農業体験を通じた立ち直り支援活動を実施した。活動には前年度に比べてほぼ倍増の125人（男82人、女43人）の少年が参加した。田植えや里芋の種芋を植えり、生長した里芋を掘り起こす収穫作業の中では、参加当初は「疲れる」「汚い」などと抜け出す少年や反動的な態度をみせる少年や作業に取りかからない少年もいたが、少年警察ボラ



ンティアや農業指導員の熱意ある指導や大人の愛情に触れていくうち次第に興味を持つようになり、農業指導者にお礼ができるようになるなど体験を通じて成長が感じられた。

② 自ら育てた野菜でカレー会食

山口県少年相談員連絡協議会は平成28年6月から10月にかけて、小中学生の支援対象少年等延べ42人が参加し、「サツマイモ等の苗植え、草引き及び収穫を通じた農業生産体験活動」と銘打って実施した。初回参加時はどの少年も「面倒くさい」などと言っていたが、収穫した野菜を使用したカレーの調理では、とうもろこしやオクラなどを使用した夏野菜カレーを全員で会食した。これら活動を行ったことによって、働くことの尊さを知るなど、明らかに参加少年の心の変化が伺え、効果は多大であった。



③ 農作業に親しんで立ち直り

長崎県少年補導員連絡協議会は平成28年6月から11月にかけて、農業体験を通じた立ち直り支援活動「みんなのわくわく農園」(餅米・さつまいも)を展開した。参加したのは様々な問題行動の小、中学生、無職少年や被虐待児童等103人が参加した。小雨降る中、参加者全員で裸足になって田んぼに入り田植えを実施。参加した少年らは、ぬかるんだ田んぼに足を取られながらも少年警察ボランティアから励まされ無事田植えをやり終えた。また、稲刈りに取り組んだり、さつまいもの収穫を行い、収穫した餅米で餅つきを実施した。少年達はつらい作業を成し遂げた達成感を得、人から感謝される貴重な体験をした。



5 予想される事業実施効果

少年の再非行(再犯)の看過は、そもそもわが国の将来を担う少年を健全に育成するという精神に悖るところであり、さらに非行(犯行)の反復は、非行(犯行)の悪質化、さらには成人犯罪者の増加にもつながって、社会不安の元となるものである。

農業体験活動によって、支援対象少年がひとりでも多く立ち直れば、少年の健全育成

という国民すべての願いが実現することになり、また犯罪発生の減少によって、治安が安定し、社会秩序がよくなることになる。

6 事業内容についての問い合わせ先

団体名：コウエキシャダシホウジンゼンコクシヨウネンけいさつ公益社団法人全国少年警察ボランティア協会キョウカイ

住所：〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門303号

代表者：リシチョウ ヤマタ シンサク理事長 山田 晋作

担当者：ジ ム キョクチョウ カツマタ シゲル事務局 長 勝俣 茂

電話番号：03-3239-4970

F A X：03-3556-1133

E-mail：katsumata5605@khc.biglobe.ne.jp

U R L：<http://zenshokyo.ecs.or.jp/>